

# 兵庫県立神戸商業高等学校の 海洋ごみ削減に向けたとりくみ

## 理科研究部 × 生徒会

### 活動概要

海に流出するプラスチックごみの問題は深刻です。理科研究部は2013年から漂着ごみの回収と調査研究の発表を通して、海ごみ削減に取り組んできました。現在は、他校や地元自治会と連携した海洋ごみの回収、環境問題についての学習、企業や行政と連携した海洋ごみ削減への啓発活動に発展しています。また校内においては、生徒会がマイバック運動、エコキャップ回収、古紙回収を推進するだけでなく、理科研究部とともに地元の海岸の清掃に参加しています。



### 「海洋ごみの漂流ルートを調べる」



西舞子海岸に漂着した海外製品の一部

2013年から漂着ペットボトルを毎月学校近くの海岸で回収し、それと神奈川県から沖縄までの30ヶ所から回収したものをあわせて研究しました。生産国や賞味期限を調べた結果、海外のごみの漂流ルートが明らかになりました。また、瀬戸内海の海岸には多くの海洋ごみが蓄積していて、台風による高潮で一気に流出することもわかりました。



太平洋岸の漂着ペットボトルの生産国の割合 (赤枠 国産20%以下、青枠 国産70%以上)



1年間の漂着ペットボトル回収数(西舞子海岸のみ)



マイクロプラスチック調査 2020年8月

### 「環境問題について学ぶ」

海洋ごみ問題を解決するためには、まず自分たちが知識を得る必要があります。昨年は六甲アイランド高校とのワークショップで神戸市の須磨海岸の砂に含まれるマイクロプラスチックの共同調査を行いました。そして、どのように問題解決をしていけばよいか話し合いました。

また、西舞子海岸での海岸植物調査や兵庫県豊岡市でラムサール湿地保全のための生物調査に参加して生物の多様性を学びました。

「ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト」に参加して地球温暖化についての勉強をした部員もいます。CO<sub>2</sub>削減とプラスチックごみ削減は、化石燃料の利用という同じ要因から起きています。



ラムサール湿地生物調査 2020年7月

### 「海洋ごみ削減に向けて行動する」



オリジナルエコバッグ 2020年9月

学校近くの西舞子海岸で地元自治会と漂着ごみ回収を毎月しています。明石市望海浜の清掃や豊岡総合高校インターアクトクラブの日本海での海洋ごみ回収にも参加。今年度から生徒会も加わりました。今年7月にはスポGOMI甲子園兵庫大会へ出場します。

生徒会は2020年の学校祭にあわせてオリジナルロゴのエコバッグを配布。エコキャップ回収や古紙回収も推進して、全校生徒の環境への意識を高めています。



明石市望海浜清掃活動 2019年9月



西舞子海岸清掃 毎月1回

### 「行政・企業・他校・地元と コラボレーションする」

2021年6月に神戸商業高校は海洋プラスチックごみ削減へ向けて神戸市環境局、六甲アイランド高校と環境連携協定を結びました。それに先行して、神戸市提供の海洋ごみでつくられウミガメのオブジェとパネルを展示しました。また、大丸須磨店とは、環境アクション展示を本年度も実施。6月よりパネル展示がはじまり、秋にはイベントの開催も予定しています。

尼崎小田高校主催「瀬戸内海の環境を考える高校生フォーラム」では大阪、兵庫、岡山、広島島の7校からなる生徒実行委員として参加。9年目となりました。夏には六甲アイランド高校と環境学習のワークショップを実施予定。豊岡総合高校主催の日本海での海岸清掃に、但馬県民局のラムサール湿地保全のための生物調査にも参加します。

西舞子自治会とは、引き続き海岸を続けていきます。



西舞子海岸清掃 毎月1回



神戸市環境局との環境連携協定 2021年6月



ウミガメのオブジェ 2021年5月

### 「海洋ごみの現状を伝える」



大丸須磨店環境アクション展示 2020年5月

2020年度は高校生ボランティアアワードのほか、奈良青翔高校サイエンスギャラリー、SDGsクエストみらい甲子園全国大会などに参加。日本からも大量のゴミが流出していることを発表しました。またレジ袋有料化にあわせ、大丸須磨店とゴミ削減に向けたパネル展示を2020年5月から半年間展示しました。

ベネッセコーポレーションの探求ナビスキルワーク、三田祥雲館高校の環境学習教材や地元タウン誌に理科研究部の活動が紹介されました。サンテレビの海と日本プロジェクトのスポットCMで活動が放送されました。この秋には、第13回世界閉鎖性海域保全会議にオンライン参加し、研究成果を発表します。

理科研究部の研究は

- 2018年 日本自然保護大賞 審査員特別賞
- 2019年 イオンエコワングランプリ 文部科学大臣賞
- 2019年 海ごみゼロアワード 環境大臣賞
- 2020年 ユース環境活動報告会

など高い評価を得ています。



Benesse 探求ナビ スキルワーク 2020年2月  
タウン誌 ビバ!ニュータウン垂水 2020年2月  
三田祥雲館高校 環境学習教材 2020年1月



立神戸商業高校理科研究部  
海岸に漂着するペットボトルなどの海洋ごみを回収し  
表記データから漂流ルートを割り出す研究を行っている  
サンテレビ 海と日本プロジェクト スポットCM 2020夏〜



### 活動団体プロフィール

神戸商業高校は140年を超える歴史を持つ日本最古の商業高校です。校舎の窓から明石海峡が見える神戸市垂水区の丘の上にあります。全校生徒およそ800人。理科研究部9人と生徒会27人が取り組む海洋ごみ問題は、生産・流通・消費の中で必ず起こる商業と密接にかかわる環境問題です。

これからも身の回りの環境が少しでも改善されるよう、意識高く取り組んでいきたいと思ひます。みなさんも一緒に行動しましょう!

### 「みんなでとりくむ」

2013年にはじまった理科研究部の活動は、徐々に浸透してきました。校内では、生徒会が中心となり、ペットボトルキャップ、古紙回収を促進することで、環境に対する意識向上を図っています。一昨年度、新型コロナウイルスの影響により中止となった海岸清掃を、この夏1年生全員で取り組むことになりました。今後、ますます活動を拡大していきます。